



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 ピクスタ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）古俣 大介
問合せ先責任者 （役職名）取締役コーポレート本部長 （氏名）恩田 茂穂 TEL 03 (5774) 2692
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,202	△8.0	△20	—	△9	—	△14	—
2025年12月期中間期	1,306	3.8	89	△43.8	89	△43.5	60	△46.1

（注）包括利益 2026年12月期中間期 △21百万円（－％） 2025年12月期中間期 58百万円（△48.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	△8.64	—
2025年12月期中間期	34.74	34.64

（注）2026年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失金額であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	2,240	1,111	46.8
2025年12月期	2,406	1,205	47.4

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,048百万円 2025年12月期 1,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,877	8.0	163	8.0	166	16.4	105	14.3	61.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、短信添付資料の8ページ「2. (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」の「中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年12月期中間期	2, 296, 640株	2025年12月期	2, 296, 640株
2026年12月期中間期	562, 618株	2025年12月期	562, 618株
2026年12月期中間期	1, 734, 022株	2025年12月期中間期	1, 734, 000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続に伴い消費者マインドに弱さがみられるなど個人消費は力強さを欠いており、中東情勢や米国の通商政策の動向、為替・金融資本市場の変動などを受け、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライフイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。さらに、近年ではAIを用いた自動画像生成等の技術革新が進んでおります。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高は、1,202,587千円（前年同期比8.0%減）、営業損失は、20,500千円（前年同期は営業利益89,547千円）、経常損失は、9,856千円（前年同期は経常利益89,665千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は、14,984千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益60,246千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが減少したこと等により、63,387人（前年同期比9.3%減）となりました。また、単品の月間購入者数累計は、ライトユーザーの離脱が影響したこと等により、33,267人（前年同期比26.7%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、868,449千円（前年同期比15.1%減）、うち定額制売上高は、584,803千円（前年同期比9.3%減）となりました。また、セグメント利益は、318,781千円（前年同期比14.4%減）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、サービスのリニューアルに伴う販売価格の値上げが影響し、累計撮影件数は5,783件（前年同期比44.6%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、163,831千円（前年同期比26.2%減）となりました。また、セグメント損失は、広告費の抑制等により、36,370千円（前年同期はセグメント損失42,988千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ165,515千円減少し、2,240,927千円となりました。

これは主に、売掛金が97,011千円、流動資産その他が44,375千円、現金及び預金が26,406千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ71,222千円減少し、1,129,331千円となりました。

これは主に、買掛金が38,525千円、未払法人税等が20,583千円、流動負債のその他が15,403千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ94,293千円減少し、1,111,596千円となりました。

これは主に、利益剰余金が93,015千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末は47.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,508,007	1,481,601
売掛金	535,204	438,193
その他	172,426	128,051
貸倒引当金	△726	△280
流動資産合計	2,214,911	2,047,565
固定資産		
有形固定資産	9,424	8,693
無形固定資産	162,713	158,026
投資その他の資産	19,393	26,642
固定資産合計	191,531	193,362
資産合計	2,406,443	2,240,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	446,282	407,756
1年内返済予定の長期借入金	181	181
未払金	73,355	66,071
未払法人税等	35,992	15,408
契約負債	525,831	535,508
賞与引当金	3,971	4,968
その他	114,334	98,931
流動負債合計	1,199,949	1,128,826
固定負債		
長期借入金	604	505
固定負債合計	604	505
負債合計	1,200,553	1,129,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,389	322,389
利益剰余金	1,023,659	930,643
自己株式	△540,531	△540,531
株主資本合計	1,137,954	1,044,938
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,280	3,265
その他の包括利益累計額合計	2,280	3,265
新株予約権	46,216	51,436
非支配株主持分	19,438	11,956
純資産合計	1,205,889	1,111,596
負債純資産合計	2,406,443	2,240,927

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,306,891	1,202,587
売上原価	565,287	537,027
売上総利益	741,603	665,559
販売費及び一般管理費	※ 652,056	※ 686,060
営業利益又は営業損失 (△)	89,547	△20,500
営業外収益		
受取利息	619	766
為替差益	-	510
債務免除益	-	7,506
受取手数料	593	564
その他	288	1,300
営業外収益合計	1,501	10,647
営業外費用		
支払利息	29	3
為替差損	1,353	-
営業外費用合計	1,382	3
経常利益又は経常損失 (△)	89,665	△9,856
特別損失		
固定資産売却損	-	38
特別損失合計	-	38
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	89,665	△9,894
法人税等	29,419	11,864
中間純利益又は中間純損失 (△)	60,246	△21,759
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	-	△6,774
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	60,246	△14,984

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	60,246	△21,759
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,632	△124
その他の包括利益合計	△1,632	△124
中間包括利益	58,613	△21,884
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	58,613	△14,000
非支配株主に係る中間包括利益	-	△7,883

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	89,665	△9,894
減価償却費	14,020	14,245
のれん償却額	-	9,371
固定資産売却損益 (△は益)	-	38
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	239	△446
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	997
受取利息及び受取配当金	△619	△766
支払利息	29	3
為替差損益 (△は益)	409	449
売上債権の増減額 (△は増加)	97,828	97,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,146	△38,525
未払金の増減額 (△は減少)	△20,402	△9,574
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△3,848	2,250
契約負債の増減額 (△は減少)	12,141	9,324
その他	△81,008	△19,190
小計	93,310	55,294
利息及び配当金の受取額	619	766
利息の支払額	△20	△3
法人税等の支払額	△155,978	△34,619
法人税等の還付額	-	49,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,069	70,738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,369	△1,629
無形固定資産の取得による支出	△10,437	△15,132
有形固定資産の売却による収入	-	0
敷金及び保証金の差入による支出	-	△3,348
敷金及び保証金の回収による収入	-	440
その他	△2,320	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,127	△19,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△19,964	△99
自己株式の処分による収入	144	-
配当金の支払額	△77,557	△77,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,377	△77,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	△611	300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174,186	△26,290
現金及び現金同等物の期首残高	1,845,154	1,530,242
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,670,968	※ 1,503,952

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
広告宣伝費	84,979千円	79,226千円
給料手当	273,020千円	276,838千円
貸倒引当金繰入額	239千円	△443千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	1,651,012千円	1,481,601千円
預け金 (注)	19,956千円	22,350千円
現金及び現金同等物	1,670,968千円	1,503,952千円

(注) 預け金の一部は当社提供サービスの対価回収における、決済サービス会社に対しての一時的な預け入れ等であり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotoa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,022,821	221,861	1,244,683	62,207	1,306,891	-	1,306,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,022,821	221,861	1,244,683	62,207	1,306,891	-	1,306,891
セグメント利益又は 損失 (△)	372,239	△42,988	329,250	△53,883	275,366	△185,819	89,547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	868,449	163,831	1,032,281	170,305	1,202,587	-	1,202,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	868,449	163,831	1,032,281	170,305	1,202,587	-	1,202,587
セグメント利益又は 損失 (△)	318,781	△36,370	282,411	△112,439	169,971	△190,472	△20,500

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。